

。。今月号の表紙



。。。。。。。。

空に月が浮かび、ススキの穂が風に揺れています。お月見団子も供えられ、風情ある9月の表紙です。

ダンスが趣味のかわいらしい女の子が描いて下さいました。ダンスを現在、9年間習っていることを教えて頂きました。HIP HOPの曲が流れると、ふだんのおとなしい性格とは変わって、元気いっぱいのダンスを披露されるそうです。学校では歴史の勉強が好きと伺いました。

心と秋らしい表紙もありありがとうございました。



院長をはじめスタッフ一同

心より感謝致します。



空に月が浮かび、ススキの穂が風に揺れています。

お月見団子も供えられ、風情ある9月の表紙です。

ダンスが趣味のかわいらしい女の子が描いて下さいました。

ダンスを現在、9年間習っていることを教えて頂きました。

HIPHOPの曲が流れると、ふだんのおとなしい性格とは変わって、

元気いっぱいのダンスを披露されるそうです。

学校では歴史の勉強が好きと伺いました。



医療法人 優慶誠会

豊郷たちかわ皮ふ科クリニック\*

最近仕事で悩んでいますか？と尋ねられたら皆様はどう答えますか？「私は仕事で何も悩みなんか無いよ。楽しくて楽しくてしょうがないよ。」なんていう人は殆どいないのではないのでしょうか。

患者様の中には、私に時としてこんな事をおっしゃる方がいます。「毎日楽しいんじゃないの〜」とか、「こんなに患者さんが多くていいよねー」と。どうも私は昔から顔つきのせいか実年齢より多少若く見られるせいなのか。苦労している様には見てもらえないのかも知れません。しかし、それでも良いと思っています。理由はこうです。

私は幼い時から親に「世間は八九の娑婆だ」とか「世渡りはラクダが針の穴を通るよりも難しい」とか言われてきました。つまり仕事は辛いものだから辛抱して我慢して努力していくんだと教わってきたのです。

それはそれで否定はしませんが、それだけでは、「仕事」＝「辛いこと」になってしまいます。それも務めだと思って努力してもいつかは疲れが出てきて限界になってしまう。つまり辛抱とは「暗い心の姿」だと思ふのです。そうならない様にするためには、明るい気持ちで仕事を楽しむことだと思ふます。でもただ楽しむだけではいけません。仕事を楽しむには準備が必要です。準備とは、朝起きて今日一日仕事が出来ること感謝する。神様に先祖に両親に会社に社長に社員に感謝することです。その上で「働くことが好きだ」と心に念じることです。この心が芽生えると仕事をする事自体に喜びが湧き楽しくなると思ふのです。

仕事には「本番」と「準備」の2種類があります。後者をおろそかにして前者だけで成功することはありません。仮に前者だけ成功したとしてもそれは偶然のことで次回は成功することはないと思ふます。私はこれをシンクロナイズドスイミングに例えます。あの競技は水面上では華やか、華麗に見えますが、水面下では脚はバタバタ、浮かんでいる状態を保つために必死でもがいています。優雅に見える表舞台とはうらはら、裏舞台では相当ハードなパフォーマンスを行っているのです。つまり、仕事の準備や辛い事などは見せないものなのです。そして表舞台で最高のパフォーマンスを見て頂くのです。そしてその仕事、パフォーマンスを自らが楽しむことが出来れば、先に申し上げた様に仕事することが喜びと感じられる自分自身に、きっと出会えることでしょう。

今の時代、クリニックも競走の時代です。何もしないで来院患者が増えることはないでしょう。

私はシンクロナイズドスイミングを思う度、患者様の前では当院のモットーである「和顔愛語」の心で診療にあたらなければならないと思う次第です。

院長・拝